■中国：発電事業者、2018 年中に石炭火力 400 万 kW を廃止する予定

電力専門紙は 2018 年 4 月 25 日、複数の業界団体が会合を開き、中国内で過剰となっている石炭火力発電所、および石炭・鉄鋼の生産設備について 2018 年の廃止計画を発表したと報じた。それによると、2018 年中に 30 万 kW 以下の発電ユニットを中心に合計 400 万 kW 以上を廃止する予定である。石炭や鉄鋼についても年間生産規模を石炭 1 億 5,000 万 t、鉄鋼 3,000 万 t それぞれ削減する予定である。なお、政府の「十三・五計画」（2016～2020 年）では、2020 年末までに石炭火力発電所 2,000 万 kW とともに、石炭を年産 8 億 t 分、同じく鉄鋼 1 億 5,000 万 t 分削減することが目標になっており、今回の決定もこの政府方針に従うものである。